

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当	部課コード	031200	TEL	2998-9158
事業コード	家畜防疫組織強化育成協議会補助金	担当	市民経済部 農政課			
031208		担当	グループ 振興			
補助開始年度	昭和 61 年度	→	終了予定年度	平成 年度		

②事業の内容	根拠法令	所沢市農業振興総合対策要綱							
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第5章にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策	1節 農業	中柱	2 経営基盤の強化	小柱	(1) 農業経営の安定化の推進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
	コード								
補助開始の背景	家畜疾病の発生による経済的損失を回避するため、畜産農家に向けて家畜疾病の防疫、啓発を行うと共に、公共施設で飼養される家畜からの疾病の発生を防止し、生徒児童への人畜感染症の防止を行う。								
補助の目的	家畜衛生に関する啓発普及及び公共施設飼養鳥類に対するワクチン接種等の防除の徹底を図っている。							団体への加盟数	
団体における実施事業の概要	乳牛臨時検査、豚予防接種、ニューカッスル病予防接種、家畜巡回指導、家畜防疫講習会の実施。							8	単位 人

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		110	110	104
	補助額決算 (見込み含む)		110	110	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.08 人	0.08 人	
	事業費合計		846	862	
	市民一人当たり(単位:円)		2.5	2.5	

④指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	団体活動実績	公共施設で飼う鳥類のニューカッスル病の予防接種	接種羽数/調査羽数	%	100	100	100	
	成果分析	公共施設でニューカッスル病の罹患を防止した鳥類の羽数	健康個体/飼養羽数	%	目標値	100	100	100
				%	実績	100	100	
%				達成率	100.0	100.0	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない		
	目標設定	目標項目	公共施設でのニューカッスル病の罹患を防止する。	達成水準	健康個体/飼養羽数の100%を維持する。	時期	3月
	H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了	
	上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	鳥インフルエンザの国内での発生など、家畜伝染病への市民の関心が高まる中で、公共施設で飼養される鳥類などの衛生管理には万全を期する必要がある、今後も引き続き防疫対策を進めていくことが有効であることから、現状のとおりとする。					
	評価日	平成 20 年 5 月 8 日	記入者職氏名	課長 越阪部 孝夫			

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日									

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
施策の方向					